

＜ あなたの治療について ＞

泌尿器 - DAR - ADT - DOC - 前立腺 - q3w

今回の治療は、DAR-ADT-DOC 療法という治療法で、ニューベクオ（DAR）という内服薬とドセタキセル（DOC）という注射薬を併用して行います。ニューベクオ、ドセタキセルは、共に腫瘍の増殖を抑えるお薬です。2つの薬を組み合わせることで、より効果を高めることができます。

◎ 治療全体の流れ

今回の化学療法は3週間が1コースとなっています。各コースの1日目に点滴を行い、連日内服薬を服用します。この治療を3週間（21日間）ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

◎ 1コース分の治療スケジュール

	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1～21日目
	ニューベクオ (抗がん剤) 600mg×2/day	内服	

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2～21日目
①	グラニセトロン (吐き気止め)	点滴 約15分		お休み
②	ドセタキセル (抗がん剤) 75 mg/m ²	点滴 約1時間		

★ 点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなってはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

◎起こりやすい副作用について（頻度 20%以上）

ドセタキセルによる

- 白血球減少、好中球減少、赤血球減少、ヘモグロビン減少
- 血中乳酸脱水素酵素増加、ALT 上昇、AST 上昇 ●総蛋白減少
- 悪心・嘔吐、食欲不振 ●下痢 ●発熱 ●全身倦怠感 ●脱毛

◎特徴的な副作用について

ニューベクオにおける

●心臓障害

「めまい、動悸（どうき）、脈が遅くなる、気を失う、脈がとぶ、立ちくらみ、息切れ、胸の不快感、脈が速くなる、しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい、冷汗が出る」などの症状

●間質性肺疾患

「息切れ、呼吸困難、咳、発熱」などの症状

ドセタキセルにおける

●過敏症状

「呼吸困難、気管支痙攣、血圧低下、胸部圧迫感、発疹」などの症状

●心不全

「階段や坂道をすこしのぼっただけで息切れがする、疲れやすい、足がむくむ、横になると息苦しく座っている方が楽である、夜間にせき込む」などの症状

●血圧低下

●不整脈、動悸等

「めまい、動悸、胸が痛む、胸部の不快感、脈が跳ぶような感じ」などの症状

●肝障害

「発熱（38～39℃）、ぶつぶつ様の発疹、食欲がなくなる、気分が悪くなる、下痢になる、しだいに強くなる全身のだるさ、皮膚や白目が黄色くなる、体がかゆい」などの症状

●腎障害

「尿の量が減る、むくみ、頭痛」などの症状

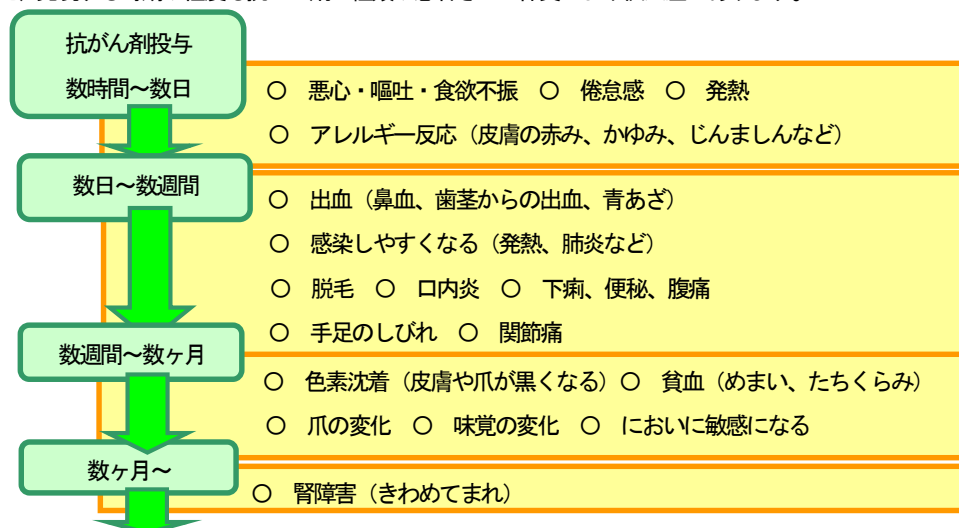
***上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。**

◎副作用の発現時期の目安

*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



◎副作用の対策について

★吐き気・嘔吐、下痢と便秘、口内炎、感染症、出血、貧血、脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

◎薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）
まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【ニューベクオ】

〔心臓障害〕 動悸、胸の痛み、胸部不快感

【ドセタキセル】

〔骨髄抑制〕 貧血症状、発熱、出血傾向

〔ショック症状・アナフィラキシー〕 呼吸困難、気管支痙攣、血圧低下

〔急性腎障害〕 尿量減少、むくみ、頭痛

〔間質性肺炎、肺線維症〕 発熱、から咳、呼吸困難

◎ 上記のほかにも副作用が現れることがあります。
他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。